

技を極める、あさげの門松

あさげ新聞

地域共生推進室 発行
【50号】
2024年12月4日発行
ご意見・質問は下記のメールまでどうぞお寄せ下さい。採用された方には旬の野菜をプレゼント！
mail: ta-hara@koaglobal.com



- 【11月の主な活動】**
- 1. 稲作事業
 - ・秋起こし
 - ・井溝掘り
 - ・畦畔の草刈り
 - 2. 園芸事業
 - ・野菜栽培
 - 【出荷】秋野菜（小松菜・水菜からし菜・野沢菜・飯田かぶ菜・チンゲン菜・ターサイ・里芋・ロマネスコ・椎茸・なめこ）
 - 【播種】ほうれん草
 - 【山菜】わらび畑の草刈り
 - 3. 薬草事業
 - ・圃場の管理（耕起）
 - ・越冬対策
 - 4. 加工事業
 - ・二年味噌、新味噌の包装／出荷
 - 5. 蕨細工事業
 - ・くわのみ農園向け、しめ飾り製作
 - ・社員、蔵向け、しめ飾り製作
 - 6 その他
 - ・門松製作（こも、袴製作、竹切・砂入れ）
 - ・しいたけ原木切り



道の駅になめこと一緒に出荷してました。



「椎茸栽培」

原木栽培しいたけの出番です。



園芸事業 「山菜畑」

今年の春、販売する野菜が少ない時期に、山菜のわらびが売上を上げてくれました。
来春も多くの収穫を目指して、わらび畑の草刈りを、二日にかけて行いました。



【竹の頭を斜めにカット】



門松の注文を地域や、飯田の企業様にご案内したところ、昨年より四箇所増えて、今年は三十九基製作します。上記写真のように、今年はこちらの縮めた藁を黒に改善してみました。土台に締めりを感じます。
【竹の切り出し】



来年の植菌に向け、原木を切り倒し、来春まで山に寝かせます。今年には雪が無く助かりました。



植菌し仮伏せしていた原木を、山にひろげました。

十二月二週には、くわのみ農園のお米と、あさげの里のしめ飾りを持って、名古屋で販売する予定です。



くわのみ農園は農薬も肥料も使わずに育てられた、幻の米「亀の尾」を栽培しています。その藁をあさげの里が購入し、伝統技術である、蕨細工と水引細工によって、新年にふさわしいしめ飾りに仕上げました。

蕨細工事業 「しめ飾り」

昨年飯田市にある、くわのみ農園の稲わらを使い、しめ飾りをお送りしたところ、くわのみ農園の協力者が購入して頂き好評でした。今年も双方の強味を融合した、しめ飾りを製作し、拡販する動きを取っています。



薬草事業 「越冬準備」

夏場、日よけに使用していた遮光ネットに加えて、マス目が細かいシートも使って二重掛けしました。これで霜が降りても安心です。



「ごし連絡」

野菜、飯田かぶ菜を栽培しました。漬物用に必要な方は、地域共生推進室までご連絡をお願いします。



「社員向けしめ飾り」

六種類の正月飾りのサンプルを作成し、写真にてご依頼したところ、多くの皆様よりご注文を頂きました。十二月二十日には、お手元にお届けします。ありがとうございました。



「側溝掘り」

ハウス上の雨水排水の為、三基のハウスの周りを、バックフオーで側溝を掘りました。